

# オフィス移転の作業効率が向上 カラーラベルプリンターで差別化



製造業の現品票や商品表示ラベル、物流業の貨物ラベルなど、業務用ラベルは様々な業種・用途で活躍している。最近では業務効率アップやミス防止を目的に、ラベルをカラーで製作するニーズが高まっている。キャノンのカラーラベルプリンターを活用。迅速で確実なオフィス移転を実現している。

## 企業移転の需要高い大都市 運搬荷物には機密情報も

企業のオフィス移転では膨大な数に上る荷物を新オフィスへ安全かつ確実に移動させなければならない。移転には入念な準備と綿密な作業計画が不可欠で、荷物の管理と運搬には多くの作業員が必要になる。

荷物の中には顧客情報や売り上げデータといった機密情報も含まれる。個人情報保護法の施行によりオフィス移転でも情報セキュリティ対策が強化され、これまでに慎重な荷物の取り扱いが求められるようになった。

日本通運は長年培ってきた輸送ノウハウを武器に法人向け移転サービスを手がけている。最近では移転業務にとどまらず、移転先の選定から新オフィスの設備工事、レイアウトまで、オフィス空間のトータルソリューションに注力している。東京や横浜などの大都市は特にオフィス移転ニーズが高く、同社東京支店で扱うオフィス移転の件数は同社全体の大半を占める。



日本通運東京支店

「移動革命」を活用するもので、ラベルの作成にはキャノンのカラーラベルプリンターを導入した。移転前の準備段階として、まずは移転物品の情報を個数管理システムに入力し、カラービットが

印刷された荷札をカラーラベルプリンターで作成後、移転する企業に配送。荷物に荷札を貼って全体の個数を把握し、事前出荷データをサーバーにアップする。移転当日は搬出・積み込み・荷下ろし搬入のそれぞれの地点にカラービットの読み取りポイントを設置。作業員は荷物をポイントに通過させることで、専用カメラで荷札に印刷されたカラービットを一括で読み込む。読み込んだ荷物データはサーバー上の事前出荷データと自動的に付け合わされる。

これにより荷物が1個単位でリアルタイムに追跡でき、その情報は作業員や企業の移転担当者などで共有可能。紛失や誤配送なく荷物を移転先に確実に運べる。運搬記録のデータはサーバー

## カラービットと他のコードとの比較

	格納データ量	一括読み取り	読み取り位置検出	読み取り環境	ランニングコスト
1次元バーコード	○	×	×	◎	◎
2次元コード	◎	×	×	○	◎
RFID	○	◎	×	△	△
カラービット	△	◎	◎	△	○

## キャノン カラーラベルプリンター LXシリーズ

### 識別性増すカラーラベル

ラベルは製品の情報や価格、貨物の送り先などを表示するもので、製造業や物流業、流通業などあらゆる分野で利用されている。製品や外箱にラベルを貼付することでいちいち中身を確認する手間が省け、効率的な作業が可能になる。

さらにラベルをカラーにすることで、視覚による識別性が増す。納品先・緊急性の有無などといった重要箇所を色分けすれば、現場の作業員は色だけで判別でき、出荷ミスやピッキングミスを減らせる。例えば化学薬品のラベルでは、取り扱いで注意すべき部分などを赤色にして目立たせれば、事故を予防する効果が高まる。

### LXシリーズがラベル作成の課題を解決

このように様々なメリットをもたらすカラーラベルは、既に多くの現場に導入されている。しかし従来のカラーラベルは、まず事前にカラー部分だけを印刷した台紙となるラベルを印刷会社に外注。納品されたラベルに文字やバーコードを自社のモノクロラベルプリンターで改めて印字して作成していた。

この方法だと印刷会社への注文からラベル台紙の納品までに時間がかかり、発注単位も数千枚が基本。製品が多いと何種類ものラベルを大量に社内在庫しておく必要があった。

こうした問題を解決してくれるのがキャノンのカラーラベルプリンターLXシリーズだ。同シリーズならフルカラーでラベル印字が可能なので、カラーのラベル台紙をあらかじめ用意しておく必要はな



インクジェット方式を採用したLXシリーズ

い。また、必要なときに必要な数だけ「オンデマンド」にカラーラベルを発行できるため、少量多品種のニーズにも柔軟に対応できる。

### ラベルサンプル帳で印字品質の確認が可能

同シリーズはほかにも数々の優れた機能や特徴を備えている。印字方式には「インクジェット方式」を採用しており、印刷する部分だけにインクを吐出するためインクを無駄なく使えて経済的だ。インクの種類は耐光性に優れた「顔料インク」を採用。長期にわたって色の安定性が求められる用途で活用できる。

キャノンマーケティングジャパンでは業務でラベルを使用している企業を対象に、LXシリーズで印刷したラベルのサンプル帳を無償で配布している。サンプル帳には製造業や物流業、流通業など様々な業種のラベルがセットになっているので、サンプルを実際に手に取って印字品質やメリットを確認でき、機器の導入検討に活用できる。申し込みは同社ラベルプリンター製品サイトから。



カラービットの読み取りポイントでは専用カメラで一括読み込みできる

印刷された荷札をカラーラベルプリンターで作成後、移転する企業に配送。荷物に荷札を貼って全体の個数を把握し、事前出荷データをサーバーにアップする。移転当日は搬出・積み込み・荷下ろし搬入のそれぞれの地点にカラービットの読み取りポイントを設置。作業員は荷物をポイントに通過させることで、専用カメラで荷札に印刷されたカラービットを一括で読み込む。読み込んだ荷物データはサーバー上の事前出荷データと自動的に付け合わされる。



カラーラベルプリンターで印刷された荷札



日本通運東京支店 三原正彦部長

原正彦部長は「新システムの導入により作業時間は1割程度短縮し、作業員も大幅に減らすことができた。従来は2週間程度かかっていた荷札の作成も、カラーラベルプリンターの導入により最短1日で作成が可能」と話す。

今後の展開として「このシステムを採用している業界唯一という強みを生かして他社とのサービスの差別化を図り、顧客満足向上に努めていきたい」と力を入れている。

上に残るのでセキュリティ向上につながる。作業の進捗状況の把握も容易なため、作業の「見える化」に大きく寄与する。

さらにカラービットは一括読み込みできるので、バーコードのようにバーコードリーダーでいちいち読み取る手間も省ける。同支店の三

移転作業は基本的に企業の業務時間外に実施することが多く、オフィスの照明が点灯していない週末や夜間といった環境でも



カラーラベルプリンターは色やデザインの変更が1枚単位で可能